

「やまがたAI部」の「夏のDigi田甲子園」出場について

1 夏のDigi田甲子園の概要

地方からデジタルの実装を進める「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた取組の一環として、国が本構想の実現に向けた、デジタル技術の活用により地域の課題解決・産業振興、そして住民の暮らしの利便性と豊かさの向上につながる地域の取組を広く募集し、特に優れたものを表彰するもの。

インターネット投票を経て、有識者による審査で優秀な取組を選定する。

○インターネット投票期間 令和4年7月12日（火）～8月15日（月）

【夏のDigi田甲子園概要】

- 全国津々浦々で「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた取組を力強く進めていくためには、地方の創意工夫がなされた独自の取組を積極的に横展開していくことが必要であることに加えて、地方公共団体や民間企業の意欲や、広く国民全体の関心を高め、様々な主体が積極的に参画いただける環境を整えることが重要である。
- このため、本構想の実現に向けた地域の取組を広く募集し、特に優れたものを表彰する「Digi田甲子園」を開催することとし、まずは地域における中核的な取組主体の1つである自治体を対象として、『夏のDigi田（デジタル）甲子園』を実施する。

【デジタル田園都市国家構想の全体像】



表彰の対象とする取組

デジタルの活用により、地域の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっているもの。

《具体的な分野のイメージ》

医療 教育 子育て
物流 交通 農林水産業
中小企業 観光 防災

誰一人取り残されない社会の実現

内閣総理大臣の出席による「表彰式」を実施

表彰部門

《実装部門》

以下の市区町村の区分ごとに、デジタルの活用によって地域の個別課題を解決している取組のうち、特に優秀と認められるもの。

- ◎ 指定都市・中核市・施行時特例市等
- ◎ 市（上記の市を除く。）
- ◎ 町・村

《アイデア部門》

上記につながる取組のアイデアとして、特に優秀と認められるもの。

【選考過程（予定）】

地区予選（～6月）

都道府県による
選考・推薦

…域内市町村のデジタルを活用した取組から優れたものを選定

本選（夏頃）

国民による
インターネット投票

…国民の視点から見た優れた取組を選定

有識者による
委員会での審査

…デジタル活用の専門家等の視点から見た優れた取組を選定



投票フォーム
(内閣官房 HP)



やまがた AI 部紹介動画
(YouTube)

2 やまがた A I 部

(1) 概要

山形県内の企業・教育機関・自治体が連携して“One山形”で取り組む、A Iプログラミング教育を通じた『デジタル人材育成プロジェクト』である。

県内の高校生を対象に「部活動」という形式で2020年8月に活動を開始し、2022年度は市内7校（県内21校）が参加しており、各学校の部活動として放課後の時間にA Iに関する先進技術やデータサイエンスを学ぶ機会を提供している。



(2) 主な取組

- ・ 実務経験豊富なデータサイエンティストやA Iエンジニアによる実践的なリアル+オンライン講座の実施
- ・ A I技術が実際に使われている地域の企業や工場見学など、実地研修やワークショップの開催
- ・ 学びの発表の場として、A Iを使った課題解決の取組を競う「A I甲子園」の開催

